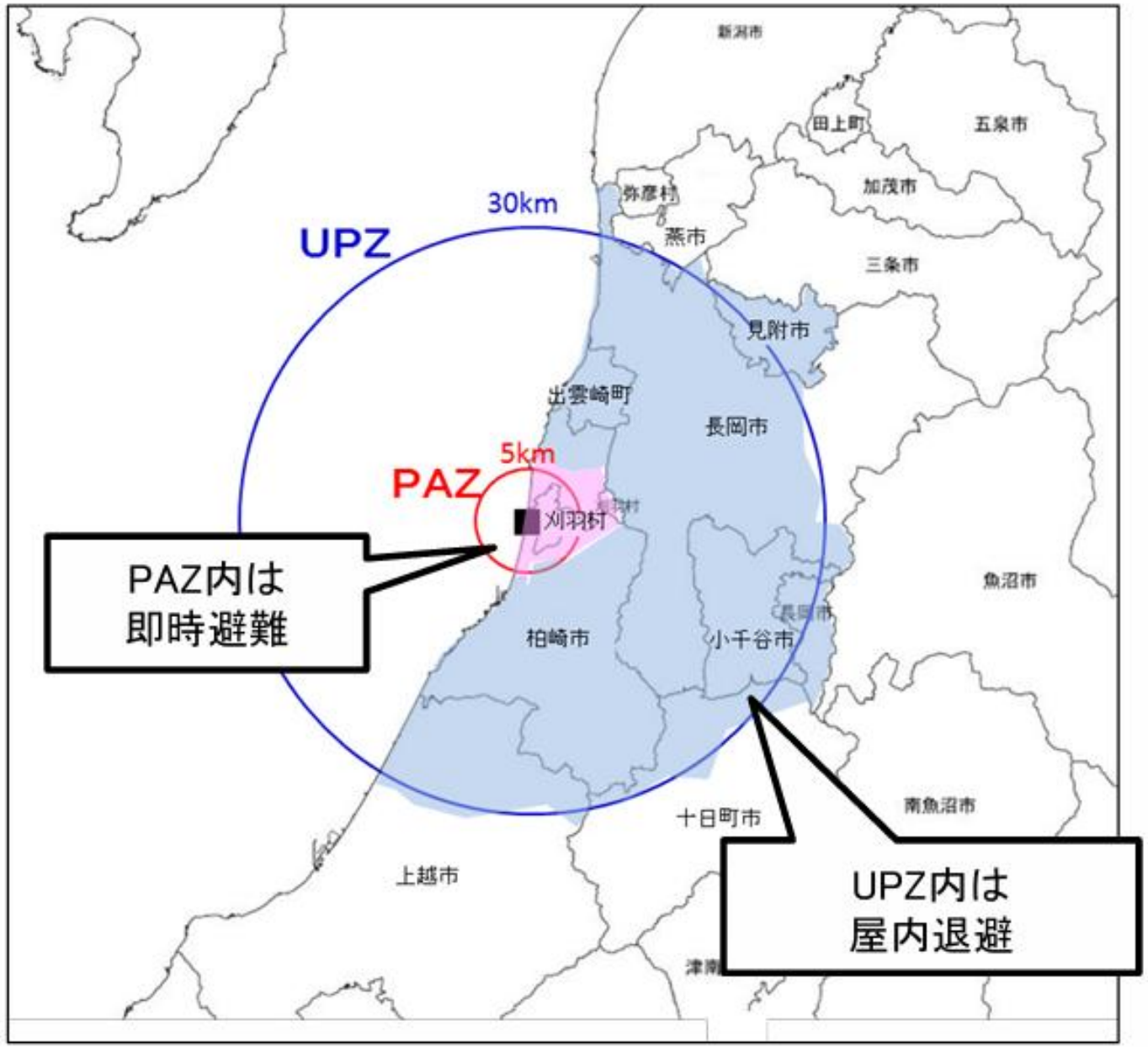
2025年5月30日

避難も屋内退避もできず
取り残される住民

「緊急時対応」を了承すべきではない

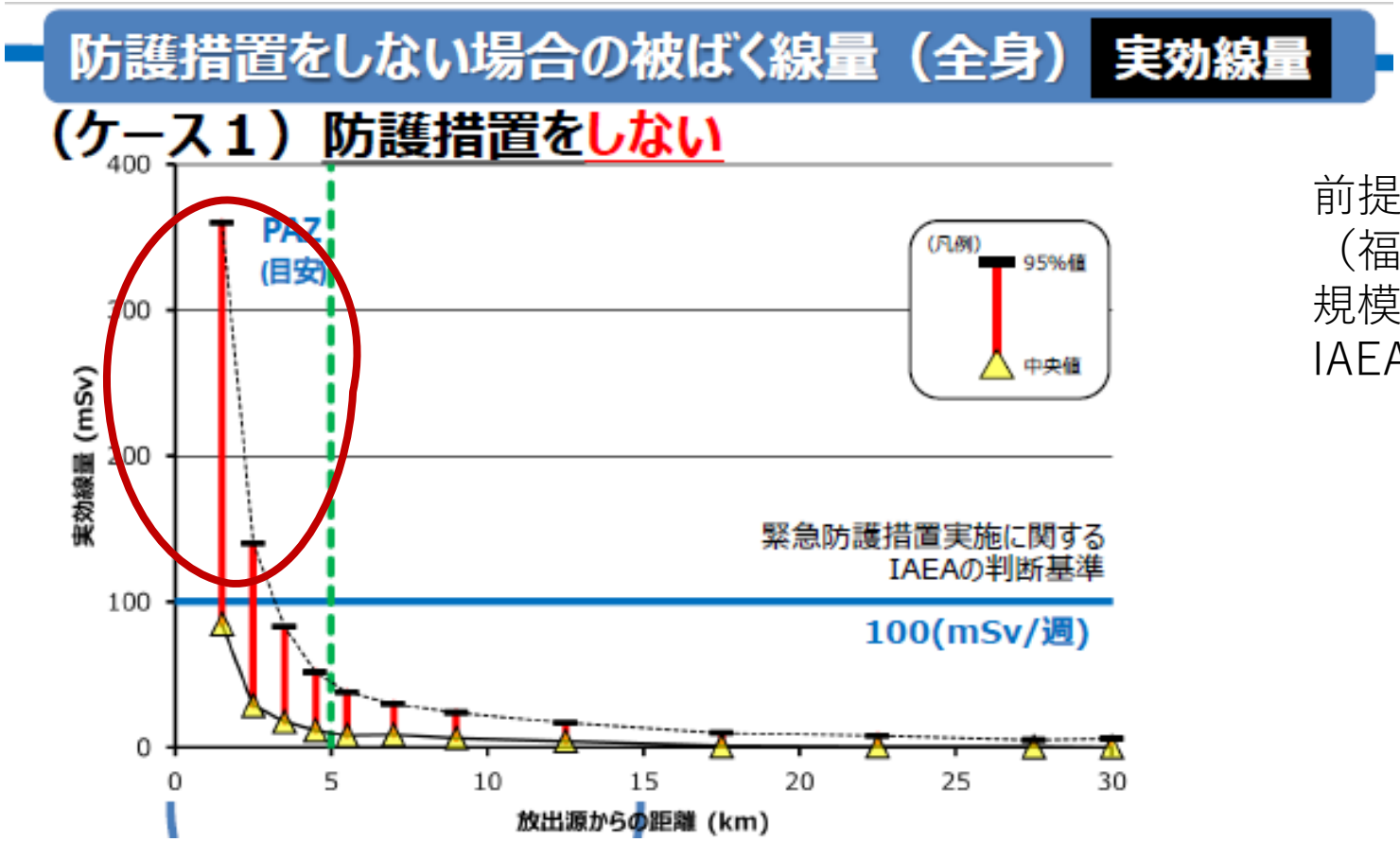
国際環境NGO FoE Japan
満田夏花（みつた・かんな）

FoE Japan



（内閣府原子力防災資料より）

対策をとらない場合…

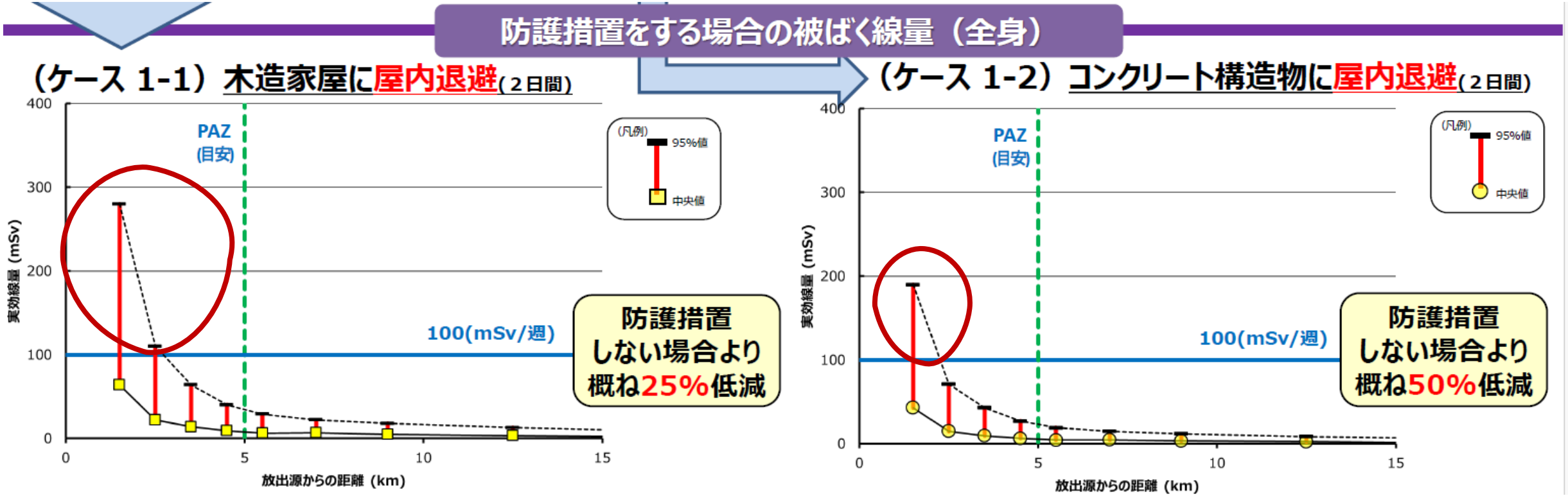


前提：セシウム137が100テラベクレル（福島第一原発事故の100分の1程度の規模）
IAEA基準：全身100mSv/週
甲状腺等価線量50mSv/週

原子力規制庁
「緊急時の被ばく線量及び防護措置の効果の試算について」平成26年5月28日

屋内退避をしてもIAEA基準*を上回る

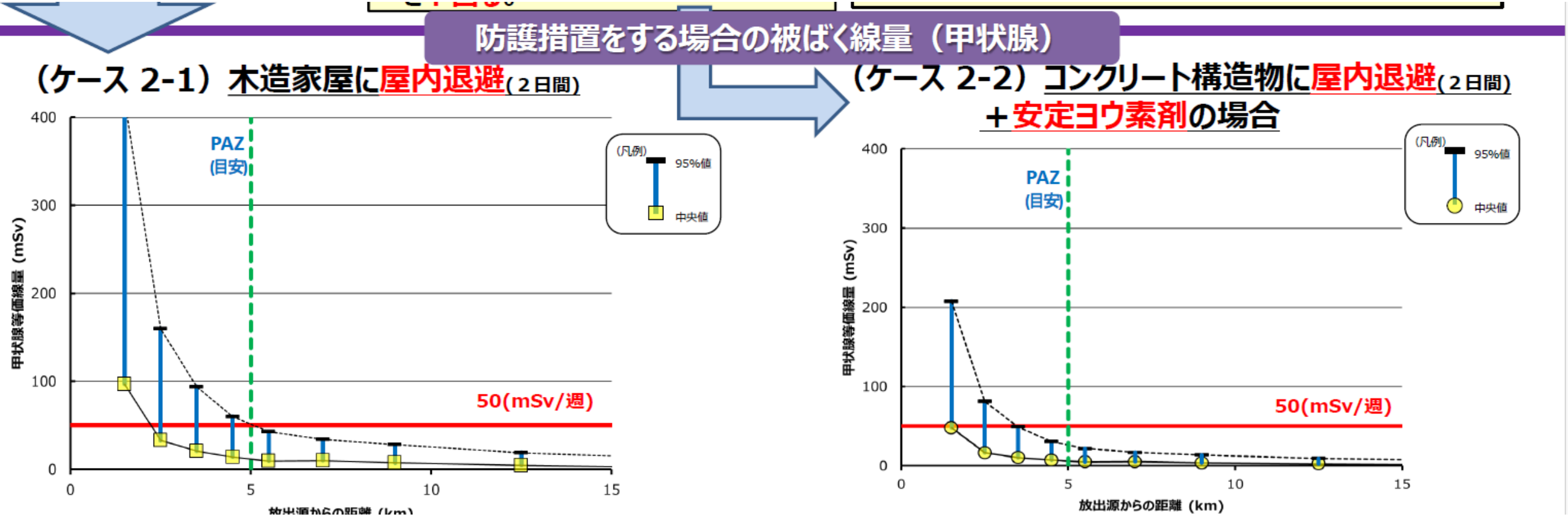
前提：セシウム137が100テラベクレル（福島第一原発事故の100分の1程度の規模）
IAEA基準：全身100mSv/週
甲状腺等価線量50mSv/週



原子力規制庁
「緊急時の被ばく線量及び防護措置の効果の試算について」平成26年5月28日

屋内退避、ヨウ素剤服用でもIAEA基準*を上回る
（甲状腺等価線量）

前提：セシウム137が100テラベクレル
（福島第一原発事故の100分の1程度の規模）
IAEA基準：全身100mSv/週
甲状腺等価線量50mSv/週



原子力規制庁
「緊急時の被ばく線量及び防護措置の効果の試算について」平成26年5月28日

原子力災害事前対策の策定において参照すべき線量のめやすについて

平成３０年１０月１７日
原 子 力 規 制 委 員 会

１．　原子力規制委員会は、原子力災害発生初期（１週間以内）の緊急時を対象に、原子力災害事前対策の策定において参照すべき線量のめやす（以下「事前対策めやす線量」という。）を設定する。

２．　事前対策めやす線量とは、その線量を上回る被ばくの発生がないように防護戦略を策定するための、被ばく線量についての水準を表すものである。事前対策めやす線量は、一般公衆の被ばくがその水準以下に納まるように計画を立てることにより、原子力災害対策の基本的目標である、

- 重篤な確定的影響を回避又は最小化する
- 確率的影響のリスクを合理的に達成可能な限り低く保つ

ことを確実にする。

５．　以上の点及び国際的に合意されている考え方を踏まえ、事前対策めやす線量は、実効線量で 100mSv の水準とする。なお、現行の OIL に基づく防護措置を適切に講じることにより、地域住民等の公衆が受ける被ばく線量は、事前対策めやす線量を十分下回ることとなっている。（【参考】①、②及び③参

「原子力災害対策指針」では

PAZとは、急速に発展する事故においても放射線被ばくによる**重篤な確定的影響を回避し又は最小化するため**、…**即時避難**を実施する等、…放射性物質が放出される前の段階から予防的に防護措置を準備する区域である

原子力災害対策指針では

PAZ（5km圏内）では、放射性物質の放出が、福島原発事故の100分の1という想定で、屋内退避をしてもIAEAの判断基準を超える

➡ 重篤な確定的影響を回避または最小化するため、即時避難

複合災害の際には

- 道路寸断
- 豪雪

➡ 避難できない

- 家屋倒壊

➡ 屋内退避もできない

➡ **住民が高レベルの線量の中に取り残される**

原子力規制委員会「屋内退避に関する検討チーム会合報告書」Q＆Aでは…

Q：家屋が倒壊すれば屋内退避はできないのではないか？

A：自宅での屋内 退避ができない場合は近隣の指定避難所等での屋内退避を行い、地震 による倒壊等の理由で指定避難所等での屋内退避も難しい場合には、 UPZ外への避難をすることとなる。

柏崎刈羽の「緊急時対応」（案）では…

- 暴風雪や大雪時などでは、PAZ内の住民は、天候が回復するまで屋内退避を優先。その後、天候が回復したら避難
- 積雪量が多く直ちに避難が困難な場合⇒避難経路の除雪が完了し、安全に避難できる環境となるまでは屋内退避を継続

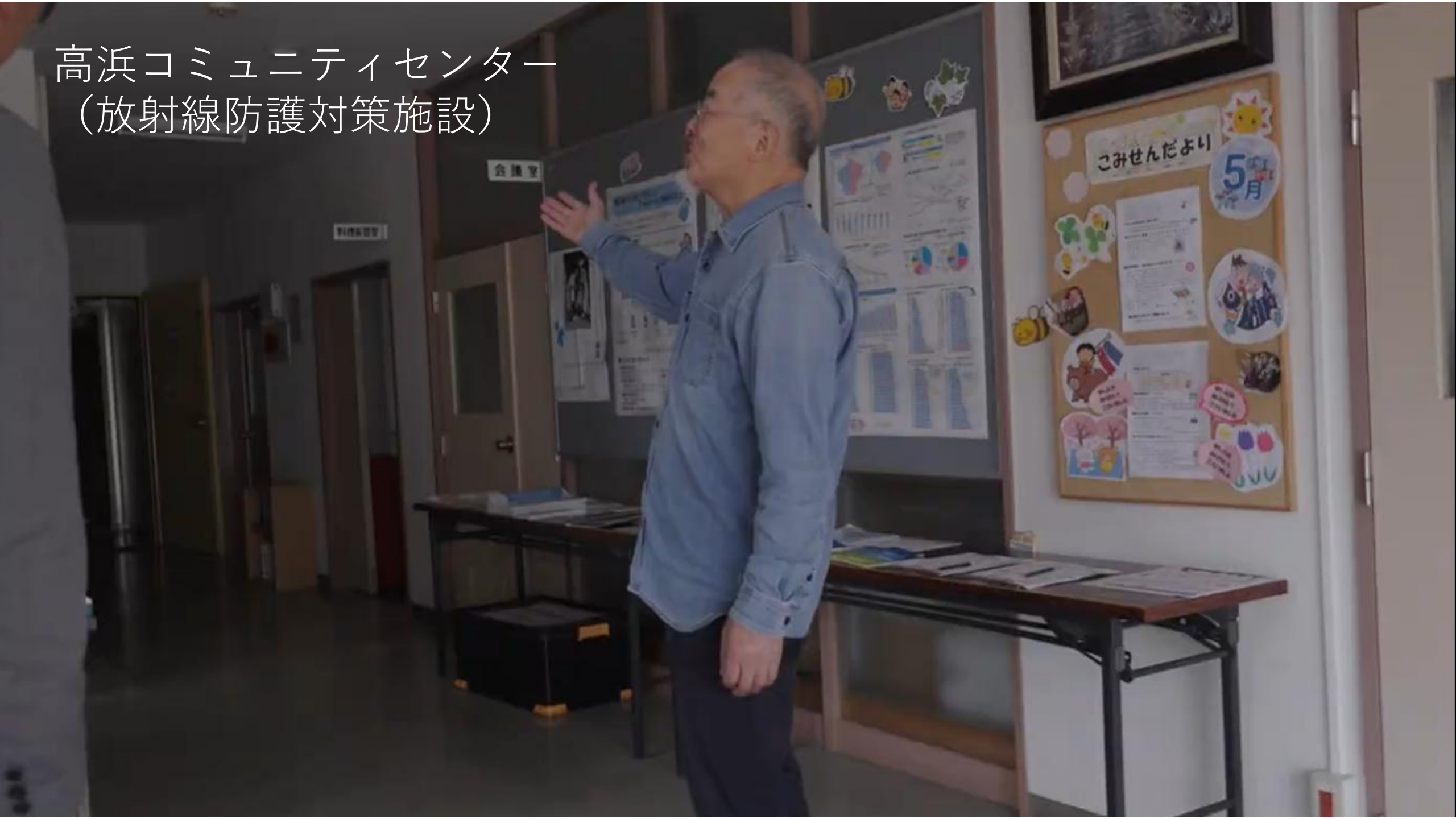
いずれも、住民に高線量の被ばくを容認することになる

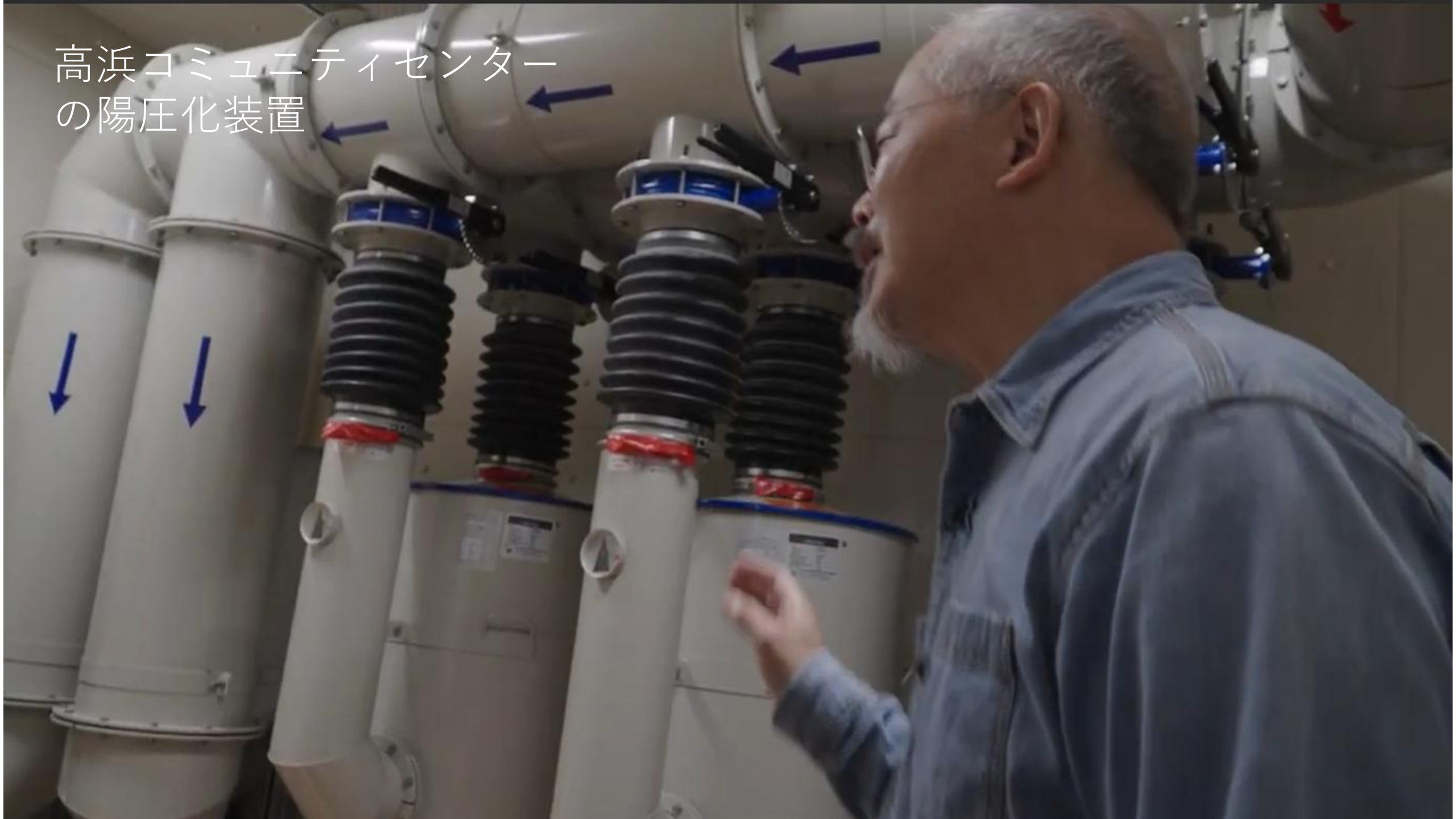
5km圏
高浜コミュニティセンター
（放射線防護対策施設）
柏崎刈羽原発
椎谷
5km
4km
3km
2km
1km
柏崎カントリークラブ
宮川
西山コミュニティセンター体育館
長嶺大池
礼拝
道の駅 西山ふるさと公苑
西山
西山IC
西山町坂
東京電力ホールディングス株式…
青山町
刈羽
刈羽村
刈羽PA (下り)
源土運動広場
PLANT-5 刈羽店
草生水献上場
越後線
373
279
116
393
148
73
352
23

高浜コミュニティセンター（放射線防護対策施設）

- 収容人数が65名
- 宮川地区の住民180名、原発に近い近隣の大湊地区の30人もここに入るしかないが入りきれない
- 海岸近くで標高７ｍ⇒津波は？
- 鉄筋ではなく鉄骨にモルタル壁の構造
- 陽圧装置をだれが操作する？⇒市役所の職員ということになっているが、たどりつけるか？
- フィルターがついているが、希ガスは素通りしてしまう

高浜コミュニティセンター
（放射線防護対策施設）




高浜コミュニティセンター
の陽圧化装置

津波の際は、高台のお寺に避難
被ばくを防護するような建物ではない

大雪の際は道路が通行不能に

吉田隆介さん提供写真

吉田隆介さん提供写真

5月26日の政府交渉では

- 市民側の問いかけ：道路の通行が困難な際は避難ができない。「緊急時対応」ではPAZでも「自宅退避」となっているが、これでは、とても緩いIAEA判断基準すら満たせない。つまり「重篤な確定的影響を回避・最小化する」という原子力災害対策指針を満たさない。「緊急時対応」を承認すべきではない。
- 内閣府・規制庁の回答…放射線防護対策施設の設置など、被ばくを最小化するための措置を講じている。原子力災害対策指針を満たしている。

⇒大量の被ばくを容認することとなる。

⇒判断するのは本来、住民や県民、国民であるべき。

- 放射線防護対策施設のフィルターは、希ガスを通す。フィルタベント時には大量の希ガスが放出されるため問題。